



『Hi, friends!』から『Let's Try!』『We Can!』へ ～新旧教材の内容比較(『Let's Try! ②』編)

3～4年生用の新教材『Let's Try!』には、『Hi, friends!』と類似した単元も見られますが、その内容は大きく組み替えられ、一新されています。今号では、4年生向け教材『Let's Try! ②』の中で、とくに「移行期に必ず扱うこと」が求められている単元について、平成30年度(今年度)中の指導において留意すべき点から旧教材との内容比較をし、以下にまとめました。

※『Let's Try!』は①、②とも、標準配当時間を35時間としてつくられているので、移行期間中、年間35時間よりも少ない時数で扱う場合には、精選して扱う必要があります。文部科学省が例示した「移行期間における学習内容例」では、平成30年度においては『Let's Try! ②』は4年生の後半と5年生の中盤で扱うことが提案されています。

参照：<http://mext-next-kyozai.net/>（小学校外国語・外国語活動 平成30年度使用新教材ダウンロード専用サイト）

Unit 2 Let's play cards!	Hi, friends! に含まれていなかった「天気の見方」How's the weather? – It's [sunny / rainy / cloudy / snowy]. が登場し、それを踏まえて遊びに誘う表現として Let's を扱います。いずれも教室英語としてはなじみのある表現ですが、児童が活動で使う場面としては初めてとなるケースが多いでしょう。Hi, friends! では扱いがなかった身近な「遊び」の語彙をここで数語扱うことになります。年間15時間配当のなかで扱う場合は活動を精選して、単元全体を2時間程度で扱う必要があります。
Unit 5 Do you have a pen?	Hi, friends! ① Lesson 7: What's this? で扱っていた「身の回りのもの」のうち文房具などと Hi, friends! ② Lesson 1: Do you have "a"? で扱っていたDo you have ...? の応答で構成されていますが、活動内容はかなり高度化しています。年間15時間配当のなかで扱う場合は活動を精選して、単元全体を3時間程度で扱う必要があります。
Unit 6 Alphabet	Hi, friends! ② Lesson 1: Do you have "a"? で扱っていた「アルファベットの小文字」に出合う単元です。Hi, friends! ① Lesson 7: What's this? で扱っていた What is ...? の疑問文を使い、What is my favorite color? Please guess. のようにペアの相手に推測させます。これに対してパートナーは、Do you have a "b"? のように、相手が好きな色の名前に含まれる文字をヒントとして求め、色名を当てます。「移行期間における学習内容例」では、4年生ではなく5年生で扱うことが提案されています。
Unit 8 This is my favorite place.	Hi, friends! ② Lesson 4: Turn right. で扱っていた「道案内」の表現を扱います。ただし、設定は街中から校舎内になっており、併せて扱う語彙が街中の建物ではなく、校内の教室名等になっています。Hi, friends! には登場しなかった形容詞 favorite も扱います。年間15時間配当のなかで扱う場合は活動を精選して、単元全体を2時間程度で扱う必要があります。
Unit 9 This is my day. ～"Good morning"～	平成28年度に4年生用補助教材として配布された絵本 "Good morning" のダイジェスト版となっています。標準配当時間は5時間と設定されていますが、移行期間中は帯時間で扱うことが提案されています。ダイジェストによって、登場する場面は起床から登校するまでと下校後から就寝までのみとなり、日課の表現も精選されています。

※今後、『We Can! ①、②』の内容についての情報も別途発信を予定しています。

